



【阿賀野市の概要】

阿賀野市は、新潟平野のほぼ中央に位置し、南側に大河阿賀野川が流れ、東側に標高1,000m級の山々が連なる五頭連峰を背にして形成された扇状地に、6,500ha余りの水田が広がる穀倉地帯です。

県都新潟市から南東へ約20kmにあり、磐越自動車道が東西に、国道49号線をはじめ、国道460号、国道290号、J R 羽越本線が南北に走り、さらに市内には磐越自動車道の安田インターチェンジもあることから、県内のみならず、県外からの交通アクセスにも恵まれています。



五頭連峰を背に広がる田園風景



早朝の瓢湖（冬）



瓢湖あやめ園（初夏）



ハスの花が一面に咲く瓢湖（夏）

【瓢湖・五頭温泉郷】

白鳥の飛来地として有名な「瓢湖」は、昭和29年、国の天然記念物に指定され、平成20年にはラムサール条約湿地に登録されました。毎年5,000羽を超える白鳥が飛来するほか、春は桜、初夏はアヤメ、夏はハスなど、四季折々の花々が周辺を彩り、年間を通して憩いの場として親しまれています。

また、出湯、今板、村杉の3つの温泉地からなる「五頭温泉郷」は、昔から新潟県を代表する湯治場として、多くの人々から愛されてきました。雄大な山裾、松や杉に囲まれた地に湧き出る温泉は、ラジウム含有量が日本有数といわれ、効能高い温泉として高い評価を得ています。



薬師の足湯（村杉温泉）

【安田瓦】

江戸時代からの歴史を持つ安田瓦は、東日本随一の生産量を誇り、雪国の厳しい気候に適応した断熱性と耐寒性に優れた高品質な瓦として知られ、その製法技術を活かした置物なども人気を呼んでいます。

また、瓦の生産工場が立ち並ぶ「やすだ瓦ロード」は、1万枚にも及ぶ瓦の装飾と風情ある煙突の街並みが楽しめる観光スポットとなっています。



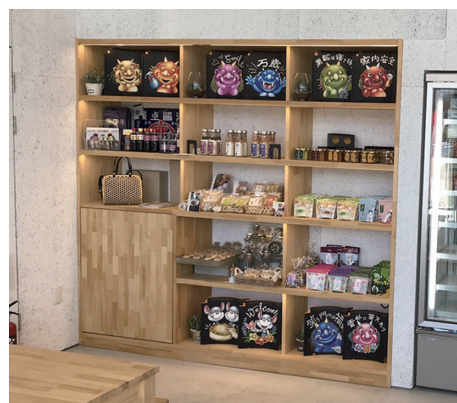
やすだ瓦ロードの一角にある瓦のタワー

さらに、昨年8月、地元企業、行政、学校、金融機関の連携により完成した「瓦テラス」は、安田瓦をモチーフとしたレストラン、カフェ、物販、オープンスペースなどを備え、訪れた人たちが地場産業に触れることができる施設となっています。

店内には、地元の県立阿賀野高等学校の生徒と事業所が共同開発した商品「パフェ・プリン」も販売されています。



昨年8月にオープンした瓦テラス



店内に並ぶ特産品



パフェ・プリン